

会長 橋本正巳
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
 柿崎町百木1023
 TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 諏訪恵一
 TEL 0258-35-4373

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

新潟県山岳協会 チアジャジマ 曲阿加吉瑪峰登山隊2004

順調に準備進む

この度、新潟県山岳協会と中国青海省登山協会の5ヵ年発展計画事業の一つとして曲阿加吉瑪I峰(本峰5930m)の初登頂を目指す新潟県山岳協会曲阿加吉瑪峰登山隊2004の遠征準備が阿部信一登山隊長を中心に着々と進んでいる。交通アクセスの不便さから、手付かずの自然が無限に残された地図の空白地帯として今日に至る未知の領域を目指す登山隊の現況と意気込みを隊長に聞いた。

新潟県山岳協会 曲阿加吉瑪峰登山隊 2004準備状況報告

登山隊長 阿部 信一

昨年のSARS騒動で延期になり、再度動き始めた遠征隊ですが、皆さんのご協力により、遅ればせながらやっと何とか形がみえてきたというところですが。隊員8人の参加協力を頂き、残り少ない日数を装備、食料登攀計画と慌し

い毎日を送っています。97年遠征隊のときの何も資料のない中で計画とは違うものの、つくづく前回隊長の藤井さんの努力たるやいかほどに大変だったかということに身にしみています。

今回の第一の目的は前回時間切れで断念せざるをえなかった曲阿加吉瑪本峰5930mの登頂であり、時間が許せば前回登ったII峰5890mへの縦走ができれば最高かなと思っています。登頂のポイントには登攀ルート壁の中にアタックキャンプが作れるかどうかを鍵を握るのかなと思っています。水、食料、装備の荷上げ作業がスムーズに進めばなんとかなるのかなと思っています。そのため岩トレニングに力を入れていくところですね。当然ながら高所に対する体調管理が大きなポイントを押握っているのはいうまでもありません。

曲阿加吉瑪峰登山日程

2004.7.14~8.11

日数	月日	行 動	内 容
1	7月14日	新潟→西安(空路)	中国東方航空MU296便 15:50発
2	7月15日	西安→西寧(空路)	
3	7月16日	西寧→温泉(3,800m)(専用車)	
4	7月17日	温泉→玉樹(3,800m)(専用車)	
5	7月18日	玉樹→賽月拉(専用車)	
6	7月19日	賽月拉→中間キャンプ(馬、ヤクにてキャラバン)	
7	7月20日	中間キャンプ→B.C(4,800m)(馬、ヤクにてキャラバン)	
8~21	7月21日~8月3日	登山活動(14日間)チアジャジマ本峰初登頂~II峰縦走	
22	8月4日	B.C→賽月拉(馬、ヤクにて)	
23	8月5日	賽月拉→玉樹(専用車)	
24	8月6日	玉樹→温泉(専用車)	
25	8月7日	温泉→青海湖 信越山荘泊(専用車)	
26	8月8日	信越山荘滞在日	
27	8月9日	青海湖→西寧(専用車)(泊)	
28	8月10日	西寧→西安(空路)	
29	8月11日	西安→新潟(空路)	中国東方航空MU295便 14:50着

※但し、登山行動の進み方次第で、後半の予定は変更有り。
 早く終わったら信越山荘泊。散策静養とする。
 遅れたら信越山荘へは寄らず、温泉→西寧直接移動とする。

なお、4頁に壮行会の案内を掲載しましたので、ご覧の上、たくさんさんの参加をお願いいたします。

又前回のガンシカ遠征隊の経験やらヒマラヤ経験者の参加もあり、心強く感じています。前回の経験をできるだけ生かし別表のような行動予定となりました。

出発まで残りすくなくなくなりなにかと忙しい日々を送っています。隊員一同ベストコンディションで頑張つてきますのでご支援の程宜しくお願いします。

副隊長 松坂 良一 (日本山岳会越後支部)
 副隊長 鈴木 勝利 (新潟山岳会)
 渉外担当 浅野 宣寛 (朝路の会)
 装備担当 須貝 静郎 (むささび会)
 医療担当 安野 立子 (新潟山岳会)
 食料担当 柿沼 美保 (新潟山岳会)
 会計担当 阿部 陽子 (新潟山岳会)

第5回

新潟県ジュニアスポーツ
クライミング大会報告

ジュニア委員会委員長 渡邊 正之

4月25日(日)、糸魚川市民総合体育館クライミングウォールを会場に、今年で5回目となるクライミング大会が開催された。

小学生の部低学年(3年生以下)と高学年(4年生以上)、中学生の部、高校生の部、それぞれ男女と種別を設定した。このうち、小学生低学年女子、高校生女子の出場申込みはなかった。

前日、3本のルートをつくる。グレードの想定はそれぞれ10a、10cd、11a。オプザベーションや競技時間は6分の設定。3本目をつくる頃には、風が強く冷たい雨が横殴りの状態だった。

当日は一転して晴天になり、小学生、中学生、高校生の順で競技開始。それぞれ2回ずつ登り、2回の合計ポイントで順位を決定する。小学生1回目の競技は、フラッシュ・トッププロープ方式。高さ12mの壁にはほぼ直線にコースをとり、ホールドを沢山取り付けた。手や足を伸ばせば必ずホールドに触れて、誰でも最終ホー

ルドまで登られるであろうという発想である。当日の参加者全員が見守る中、ルートセッター3名が模範演技でコースを試登。ひときは大柄な内山クライミング委員長は、口でルートの説明をしながら登る。両肘を固め、両手を自分の顔よりも挙げないようにして登る姿は、なんともユーモラスで、子ども達を含めて全員が笑って見ていたが、どのくらい小学生の参考になったかは定かではない。

小学生の部は男女合わせて11名が参加。柿崎小6年の山川康平は、昨年各種大会に出場した実績を持ち、リード方式を選択してただひとり完登。糸魚川小6年の建部泉希もリードで登りあともう少しのところまで惜しくも最終ホールドに達せなかった。小学生でリードを選んだのはこの2人だけ。

小学生の2回目はオンサイトになる。ルートは、左側から登り始めて徐々に右側に移動するように設定。壁が前傾してくる部分からは、さらに右手のカンテにホールドが付

く。グレードは10a、手で触れられるのは赤いテープで囲われたホールドだけ。足は自由。ホールドの間隔も1回目より若干広くした。スタートから5mくらい登ると始まる前傾の壁で動きの止まる選手が多くなる。低学年の部の島岡雅(柿崎小2年)と高学年の部島岡峻(柿崎小4年)は7m近く進んだが、カンテに出ることなく競技を終了。建部と同じ糸魚川小6年渡邊藍と堀口梨奈はカンテを登るのは初めてとか。右足を大きく踏み出してカンテに上手に取り付いたが、最上部まで進めずに終了。小学生はいずれも「頑張れ」の声援に対して、制限時間の6分間カエル状態を保って応えていた。見ていた誰もが「そんなことをしていいないで、上のホールドに思い切って手を伸ばせ」と指示を叫びたかったはず。

中学生の1回目は、小学生の2回目ルートオンサイトのリード方式で使用。手のホールドは限定、足は自由。糸魚川中3年の久保田聡と同2年の綱島智也は実力が伯仲。綱島が最近力をつけ、久保田に肉薄してきたようだ。ふたりともあっさり完登。糸魚川

東中3年の五十嵐祐子と柿崎中1年の五十嵐妹子は、ともに上部まで登りながら最終ホールドに手が届かないまま落す。2回目は、グレードが10cdとなり、手足限定。久保田と

綱島は、このルートも難なく完登。2人の五十嵐は完登出来ず終い。高校生の1回目は、中学生女子が完登出来なかったルートをおつという間に登り終え、2回目のルートは11aに設定した。まず、中学生の綱島と久保田が決勝戦として登り、前傾の始まった部分で同じホールドに手を触れただけで、ふたりともあっけなく落下。今回は3回登ったことでもあり、あえて差をつける必要もないため、ふたりを同成績の一位とした。

ともに糸魚川白嶺高3年の霜越歩と脇田大翼は、最終ホールド2つ手前で落ちてしまった。壁の傾斜角度がきつしく、ここに達するまでに腕の筋肉が力を出し尽くし、握力がなくなつたようだ。楽な姿勢を取れる途中の部分で、休息を取って握力の回復を図らないと完登が難しいルートだった。なお、大会成績は、1位の選手の名前だけを記載する。



参加者全員で記念撮影

- ◇小学生の部 低学年男子 島岡 雅(柿崎小2年)
- ◇小学生の部 高学年男子 山川康平(柿崎小6年)
- ◇小学生の部 高学年女子 建部泉希(糸魚川小6年)
- ◇中学生の部 男子 久保田聡(糸魚川中3年)
- ◇中学生の部 男子 綱島智也(糸魚川中2年)
- ◇中学生の部 女子 五十嵐祐子
- ◇高校生の部 (糸魚川東中3年) 霜越 歩
- ◇高校生の部 男子 (糸魚川白嶺高3年)

祝新潟山岳会創立40周年

新潟山岳会40周年 祝賀会御礼

新潟山岳会 阿部 信一

去る平成16年2月15日新潟駅前新潟厚生年金会館にて新潟山岳会40周年祝賀会を開催させて頂きました。会員、来賓を含め150名のかたがたにお集まりいただき盛大に行わずしていただきました。当日の参加者はもちろん他の方々からも物心ともども暖かいお言葉を頂き心より御礼申し上げます。



飛騨山脈北端は凝灰質角礫安山岩の岩壁

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

③ 日本アルプスの起点は親不知の断崖

昔から交通の難所として、多くの故事来歴を秘めた天下の険親不知は、越中越後の国境で、関東と関西文化圏の境目ともいわれています。

日本アルプスの父、ウェストンは、110年前の夏に親不知を訪れて、当地がアルプスの起点であると、著書「日本アルプスの登山と探検」に記述しています。

梅海新道の二本松峠から入道山を経て日本海に至る地域は、中生代の尻高山礫岩層から新生代古第三紀の親不知火山岩類に変わります。海岸沿いには火山灰質の凝灰岩・安山岩・流紋岩・珪長岩などが多いようです。0~3000mの稜線を縦走すると、高度と地質が地形や植生を特徴づけているのがよく理解できます。

「山と岩石」の話も、山形県境の笹川流れや日本国から、富山県境の親不知まで辿ってきましたが、如何でしたでしょうか。次回からは、もう少し、県下の山や日本アルプス全域、深田百名山などを、広域的に捉えて紹介してみたいと思っています。

当日はさわがに山岳会会長の小野 健様による；つがみ新道物語；と題しての記念講演と式典、平田大六関川村村長様のご祝辞による祝賀会と盛り上げて頂き無事とっておこなうことができました。ご来賓のかたがたのご祝辞にもごさいましたが、山行の安全と山岳会の活性化、そして環境問題への取組みは今後ますます重要なものとなります。当山岳会としても一層の努力をこらして行きたいと思っております。これからも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくおねがいします。



参加者全員での記念撮影

クライミングボード建設 募金の御礼と報告

「新山協ニュース」前号でもお願いをいたしました、クライミングボード建設に伴う募金に次の方々からご協力を頂きました。

目標額に向けて多くの皆様のご協力をお願いいたします。
(募金ご協力者)
根津 紘(津南町教育長)、室賀輝男(長岡H.C)、藤井信(長岡H.C)、橋本正巳(高田H.C)、片桐一夫(長岡H.C)、新潟峯友会、横田利八郎(高田H.C)、福田

亨(高田H.C)、浅野巨寛(朝路の会)、裴和新一(上越山岳会)、桑原悌治(津南山岳会)、七沢恭四郎(高田H.C)、遠藤俊一(一峰会)、清水迪男(津南山岳会)、井春文(南魚山岳の会)、外山禎一(山友会'99)、北村猛(工友会)、遠藤家の進正和(むささび会)、一峰会、石田国夫(とーろっこ山の会)、むささび会、映彩山岳会、土田幸雄(長岡H.C)、本田仁(亀田山岳会)、伊藤明徳(高田H.C)、飯田すえ子(高田H.C)、渡辺正之(長岡H.C) 5月31日現在
(順不同、敬称略)
総務委員長 七沢恭四郎

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第553号・IATA代理店 [社] 日本旅行業協会会員
本社：新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

☎ (0258)33-7123
☎ (025)246-2266

☎ 長岡営業所

☎ 新潟営業所

第2回クライミング指導員講習会 およびジュニア講習会開催(報告)

5月16日(日)、糸魚川総合体育館内ボルダリングルームにて第2回クライミング指導員講習会およびジュニア講習会を開催しました。受講者は12名でした。

中・高校生にはレベルアップを目的に、より難しい課題を練習してもらいました。小学生にはムーブ、バランスの基礎を練習してもらいました。自分の練習課題や弱点がわかり大変有意義な講習会になったと思います。

次回は、7月11日(日)に糸魚川総合体育館で行います。多数のご参加よろしくお願いします。

クライミング委員長
内山 豊

◆講習会の申込・問合せ先

〒950-0081
新潟市逢谷内2-15-26
内山 豊
☎025-271-3637
FAX 025-271-3651

お知らせ

◆新潟県山岳協会曲阿加吉瑪峰登山隊2004壮行会

日時 7月4日
午後2時から5時
会場 新潟第一ホテル
会費 七千円

※詳細は、同封の案内書をご覧ください。

◆中高年安全登山リーダー研修会

日程 6月19日から20日

※詳細は電話で、直接お問合せください。
中・高年登山委員長 山田弘二
携帯電話090-2168-9439

◆中高年登山教室

〓金剛山へのお誘い〓
主催 新潟県山岳協会
中高年登山委員会
日程 9月11日から12日
会場 金剛山(佐渡)
目的 中高年登山愛好者の山岳遭難事故防止対策

講師 スポーツ認定医 齊藤 宣雄 氏
参加費 22,000円
(宿泊費、交通費、保険料等)
受付 6月25日まで
(入金を持って受付とする)
定員 40名
申込 郵便振替で
宛先 中高年登山委員会
口座 006800-816090

通信欄記載事項
住所・氏名・電話番号・血液型・年齢
※入金確認後、7月上旬から
暫時案内を発送します。
なお、7月31日以降の取り消しは、返金できませんので、ご注意ください。

問合せ先
新潟県山岳協会
中高年登山委員会

委員長 山田弘二
025-244-0819

◆曲阿加吉瑪峰登山隊カンパのお願い

皆様もご承知の通り新潟県山岳協会と中国青海省山岳協会との行事計画の一環として、メコン川源頭に聳える末踏峰チャジャツマ峰(5,930m)の初登頂を目指します。阿部隊長以下隊員は日々研鑽の毎日であり、新潟県山岳協会と致しましても総力を結集して応援したいと思っております。

この大きな事業を成しうる為、会員皆様方にこのカンパをご理解賜り、出費多端の折では御座いますがご賛同と絶大なご支援ご協力を賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

新潟県山岳協会会長
橋本 正己
募金額 一口 5千円
募金口 口座名義
中国チャジャツマ登山隊
阿部 信一
口座 第四銀行 大形支店
1407680

※詳細は、同封の案内書をご覧ください。

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>